

地元活性化探究プロジェクト

～Explore our local community and ourselves～

第7回「探究サロン」が行われました。

「探究サロン」とは、様々な分野で活躍する社会人、卒業生、大学生を講師として招き、生徒が自身の生き方や将来の職業選択についての意識を高める機会として提供する場です。放課後定期的に開催しています。今年度最終回の第7回目となる今回は「京大OBに聞く！人生のプランニング」をテーマとし、恵那市在住の柄澤一樹さんに講師を務めていただきました。柄澤さんはプランニングオフィスAFFEST代表、(一社)ジバスクラム恵那CMO、(一社)恵那青年会議所事務局次長など様々な肩書で仕事をされています。



京都大学 文学部モットー

“よく遊び、よく学べ”

今回の職業講話では、柄澤さん自身の高校時代から現在の仕事に出会うまでの経緯をお話いただきました。高校時代に出会った友達との繋がりが現在でもあることや、大学時代にボランティアへ行った福島の人々との繋がりなど、人との繋がりが縁が大切であることをお話していただきました。また、趣味である旅行を仕事にした経験や、なぜ地元に戻ってきたのか、そのきっかけなど様々な経験談をうかがうことができました。

全員そろっての記念写真



以下生徒アンケートより（抜粋）

今回の話を聞いて印象的だったことは？

- ・今、夢があっても自分でやりたいことがあれば楽しめる。
- ・やりたいことを絞る必要はないこと。
- ・社会に出ると、いろいろな出会いがあること。
- ・やりたいことは変わっていいし、どんな事でもできる。よく遊び、よく学べ。
- ・京大理学部から文学部に転学部するなど、自由に自分の好きなものを学んだり仕事にしたりしていたのが印象的でした。



今回の話を聞いて、今の自分に足りていないこと、必要だと思うことは？

- ・やりたいことをやる！ ・柔軟性 ・前向きな気持ち
- ・自分から探して学んで楽しむこと ・好きなことややりたいことを探すこと。
- ・もっと自由に生きていいなと思った。考えすぎるよりも柔軟に対応して自分がしたいことをするべきだと思った。
- ・好きなことをして、今を楽しむことができていなかった。
- ・やりたいことをまずやってみる行動力

その他、感想など

- ・いろいろな目線で物事を見ることや前向きに考えることの必要性が分かりました。
- ・京大の秘密をありがとうございました。私はまだ大学も明確に決まっていなくても、自分のやりたい看護師になるために一見関係なさそうなことでも挑戦したいと思えました。
- ・第一志望だった大学に受かったのに、受かったら受かったで不安がたくさんあって少ししんどかったのですが、今回のお話を聞いて、少し大学が楽しみになりました。
- ・型にはまらなくても色々なことに挑戦していろいろ試してみるのも大事なことだというのに改めて気づきました！これからの人生、たくさん挑戦していきたいと思います！

来年度の探究サロンもお楽しみに！！！！